

文学企画展

# 飯原一夫 古典を描く



「天の岩屋戸のアメノウズメの命」(「古事記」より)

2016年

2017年

12月22日(木)～2月5日(日)

徳島県立文学書道館

月曜休館 ※1月9日(月・祝)は開館し、10日(火)を休館。  
年末年始(12月28日～1月4日)は休館します。

観覧無料

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 ☎ 088-625-7485 FAX 088-625-7540 <http://www.bungakushodo.jp>





「神奈備の石瀬の杜の呼子鳥いたくな鳴さそ我が恋まさる」鏡王女（「万葉集」より）

郷愁を誘う独特の画風で徳島の古き良き時代や徳島大空襲の惨状を描き続けてきた徳島市の画家・飯原一夫。今回は「古事記」「万葉集」「徒然草」など、日本の神話や古典文学の世界に挑んで新たな境地を開きました。自由奔放な想像力と鮮やかな色彩感覚。生き生きと描かれた絵画とエッセーを組み合わせた魅力あふれる飯原ワールドをお楽しみください。



「春の園紅にほふ桃の花下照る道に出で立つ少女」大伴家持（「万葉集」より）

## 飯原一夫（いいはら・かずお）

画家。1929年徳島市生まれ。徳島師範学校卒業後、県内の小・中学校、聾学校で教員を務めながら、郷土の風景や民話の世界を描く。87年より徳島文理大学教授（現在、同大学名誉教授）。70年、徳島新聞文化賞受賞。著書に『画文集 なつかしき徳島』『画文集 あの日あの頃』『阿波狸奮闘記』『読みがたり 徳島のむかし話』『シロのないた海』など。

## ギャラリートーク（先着 150 人）

2017年1月22日(日) 14:00～15:00

飯原氏に執筆時のエピソードなどをお話しいたします。  
来場者に展示作品のポストカードを1セットプレゼントします。

○聴講無料ですが、申し込みが必要です。往復ハガキ(1人1枚)に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢(または学年)、電話番号、「飯原一夫ギャラリートーク希望」と明記の上、当館まで郵送してください。当館1階受付でも申し込みます。



### 交通アクセス(JR徳島駅から)

#### ○徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポツポ街を抜けて右折します。踏切と助任川を越え、3つ目の信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

#### ○バス

[徳島市営バス]

7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。

[徳島バス]

2番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。

#### ○タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え4つ目の信号を右折して約300m。当館北側に駐車場があります(43台・大型バス2台)。



「大根が兵となり館を守る」(「徒然草」より)